

防出張所の改修などさまざまな観点から検討し、政令市への移行時点で消防本署の機能を果たせるよう努めたい。

全国都市緑化フェア

環境への配慮を表現

問 全国都市緑化フェアのメイン会場における①展示内容は②岡山らしさの演出は。

答 ①テーマの一つである環境への配慮をさまざまな形で表現し、ヒートアイランド防止など循環型社会へ寄与する緑化技術や有機技術を使った緑化などを紹介予定だ②岡山を代表する桃の花で来場者を迎えたり、キッズガーデンでは県南部で多く生産されている麦を利用したミステリーサークル的な空間づくりを行い、子どもたちが自然に触れながら遊べるようにしたい。

庁内検討部会で

市有施設の耐震化を検討

問 市有施設の耐震化の現状と今後の方針は。

答 被災時の対策本部や避難などの拠点となる市有施設は、学校、幼稚園、市営住宅を除き七十八施設あり、法により耐震化が求められている。そ

のうち四十六施設は改修の必要はないが、残り三十二施設は旧耐震基準で建築されており、早急な耐震改修が必要だ。しかし、多額の費用や時間を要するため、庁内検討部会を立ち上げ改修の優先順位や年度計画等を検討する予定だ。

耐震改修促進計画と

地震防災マップ

問 「岡山市耐震改修促進計画」と「地震防災マップ」の周知方法は。

答 市ホームページや市広報紙に掲載することで周知に努めたい。また、平成20年度早々には建築指導課内に相談窓口を開設するとともに、県や市はもとより民間団体が開催するイベントにも参加し、耐震化の重要性を啓発したい。

公明党

利用しやすい

市ホームページを目指して

問 市民の問題解決に役立つよう、市ホームページの見直しをしては。

答 これまでで行政組織にとら

われずに情報の検索ができるようリニューアルを実施してきた。平成20年度は市民の視点から見た診断・調査を実施し、改善方策を取りまとめ、政令市移行時を目的に、市民にとって便利で使いやすいホームページとなるよう全面的な改良作業を進める予定だ。

新型インフルエンザ

対策ガイドライン策定へ

問 新型インフルエンザの初期段階での感染拡大を阻止するための対策は。

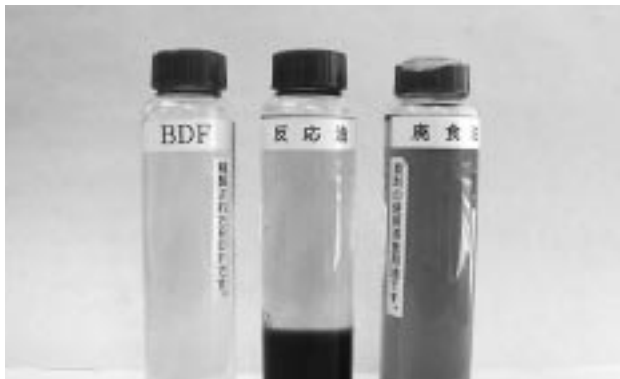
答 岡山空港での県市対応合同訓練の実施など、県と連携した感染拡大阻止対策をとるとともに、感染拡大を最小限にとどめるため具体的対応を定めた岡山市新型インフルエンザ対策ガイドラインを策定中だ。今後は庁内や関係機関との連携がとれる組織体制、医療体制の整備を進めたい。

バイオディーゼル燃料で

資源循環型社会を推進

問 バイオディーゼル燃料導入のスケジュールは。

答 平成20年4月中にパートナー企業を選定し、農林水産省が行うバイオ燃料地域利用モデル実証事業に応募する。事業採択されれば、パートナー企業は国の補助を利用してプラント建設に着手する。本市は完成までの間、市有ディーゼル車の整備を進め、法制度を利用した誘導施策、具体的な回収方法を検討する。市民、排出事業者への説明、協力依



新しい燃料としての活用が期待される
～右の廃食油から左のバイオディーゼル燃料 (BDF) へ～

頼を行い、21年度中に燃料供給を開始したい。

学校への理不尽な要求

対応マニュアル作成へ

問 学校に対する保護者から

の理不尽な要求への対策は。
答 保護者の要求は年々多様化し増加傾向にあり、求められる内容も多岐にわたっているため、解決に長時間を要したり、学校のみでは解決できない事例が増えてきた。平成20年度に導入予定である学校問題対応支援事業で、これまで学校現場から上がってきた解決困難な事例を中心に事例検討会やクレーム対応研修会で具体的に検討し、同様のト

市民一体での

政令市実現に向けて

問 政令指定都市推進協議会の役割は。

答 市連合町内会、市連合婦人会、岡山商工会議所など二百七団体で組織され、本市の政令市移行の実現に向けた取り組みを、市民各界各層を挙げて支援することを目的として設立された。総務省に対する「政令指定都市・岡山」の実現に関する要望や、今後のより具体的な事務協議の推進など、市民の立場から政令市岡山の実現に向けて活動されている。